

平成28年度 不登校防止推進教員及び適応指導教室関係者合同研修会

日時：平成28年12月19日（月） 14:20～16:30

場所：竹田総合庁舎大会議室

竹田教育事務所管内の不登校防止推進教員及び適応指導教室関係者等を対象に、不登校児童生徒への支援の在り方とその方策についての講義及び実践の交流を通して、推進教員及び関係者の資質の向上を図るとともに取組の充実を図るために実施しました。

<講義> 60分 演題 「不登校児童生徒への支援の在り方とその方策」

講師 大分県教育センター 教育相談部 北村 教 指導主事

<実践の交流> 50分 ○不登校防止推進教員、適応指導教室の取組について「報告」「質疑・応答」

○指導・助言（北村指導主事から）

<参加者の声 ～アンケートから～>

【講義】○カウンセリングの技法の「指示」と「対決法」というのを初めて知った。勉強しようと思う。○「傾聴」に重視したこれまでのカウンセリング技法から、一歩先を見た観察の仕方が細かく研修できた。○三者面談の形について初めて聞いた。資料をよく読み込んで、参考にしたい。○子どもたちを元気に笑顔にするように努めたいと思う。

【実践の交流】○豊後大野市の取組を知って、サフランでも取り入れたいことが見つかってよかった。○竹田市の取組を聞いて、同じように悩んでいることに共感し、また違う取組を真似したいと思った。○以前から近くの地域での学習会があれば…との思いがあったので大変良かった。○「アウトリーチ」を参考にしたいと思った。

【研修全体を通しての感想】○内容にもっと踏み込んだ報告や話し合いになると、もっと有意義な会になると思う。○ざっくばらんに話をしていくような会だとよい。時間が少ない。○いつも支援センターの中で、どうしよう、こうしようと考え合って、話し合っただけだったが、他の市の取組を知ることで、新たな視点を得ることができた。○経験のみで運営しているということもあり、このような研修はありがたいと思った。



← 講義

実践の交流↓



【教育事務所の所感】今回はじめての試みであったが有意義な研修会になったと考える。会の持ち方について改善すべき点（雰囲気作り、時間配分等）を把握できたので次回に生かしたい。